

2003年度 京都大学 生涯教育学講座 彙報

1. 2003年度 授業

《大学院》

教授	前平 泰志	比較社会教育論	前期
		生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
教授	川崎 良孝	図書館情報学特論Ⅱ	前期
		図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
助教授	渡邊 洋子	生涯教育学講読演習Ⅰ	前期
		生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
講師	佐久間孝正	生涯教育学特論Ⅰ	後期集中
講師	山口源治郎	図書館情報学特論Ⅱ	前期集中

《学部》

教授	前平 泰志	相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		同和・人権教育論	後期
		生涯学習概論Ⅱ	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前期・後期
教授	川崎 良孝	図書館資料論	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前期・後期
助教授	渡邊 洋子	生涯学習概論Ⅰ	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前期・後期
		教育研究入門Ⅱ（リレー方式）	後期
		偏見・差別・人権B（全学共通科目、リレー方式）	後期
講師	国生 寿	社会教育計画論Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
講師	山田 礼子	生涯教育学・図書館情報学講読演習Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
講師	志保田 務	資料組織論	前期
		資料組織論演習Ⅰ・Ⅱ	前期・後期
講師	塩見 昇	図書館経営論	前期
講師	山本 昭和	図書館サービス論	前期
講師	川崎佳代子	読書と豊かな人間性	前期集中
講師	柴田 正美	情報メディアの活用	前期集中

2. 研究活動

《生涯教育学研究室》

- ・合宿：2003年7月25日～27日（関西セミナーハウス）京都大学大学院生涯教育学講座主催
- ・講演会：2003年6月3日（京大会館211号室）京都大学大学院生涯教育学講座主催
— フリダヤ・バジュラチャルヤ
（ネパール・トリブワン大学 教育革新と発展研究センター（CERID）所長）
「学校からコミュニティへ— 環境保全と文化保護を推進する教育の可能性」
- ・講演会：2003年9月16日（京大会館211号室）京都大学大学院生涯教育学講座主催
— 金 信一（ソウル大学）「学習社会における資格制度の拡張：韓国の場合」
- ・講演会：2004年2月18日（京都大学教育学部第二講義室）教育社会学講座と共催
— ロナン・ル・コアディック（ブルターニュ師範大学院（IUFM）助教授）
「自ら助くるために学ぶ：ブルターニュ地方の生徒たちは
なぜ学校で好成績を収めるのか」
- ・セミナー：2003年11月19日（京都大学教育学部第2演習室）京都大学大学院生涯教育学講座主催
— 宮坂広作（東京大学名誉教授）「生涯学習研究と生涯発達史研究」
- ・セミナー：2003年11月27日（同志社大学 徳照館1階会議室）京都大学大学院生涯教育学講座・京都生涯学習研究会の共催
— ヘリベルト・ヒンツェン
（ドイツ成人教育センター連合（DVV）国際協力研究所所長）
「Information, Exchange and Cooperation in Adult Education
— Asian, European and International Perspectives」

《図書館情報学研究室》

- ・講演会：2003年3月28日（京都大学附属図書館3階AVホール）京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座・日本図書館研究会・京都大学附属図書館・近畿地区国公立大学図書館協議会の共催
— ルイズ・ロビンズ（ウィスコンシン大学図書館情報学大学院研究科長・教授）
「アメリカの図書館と知的自由：過去と現在」
— 川崎良孝「大学図書館員の専門性について」
- ・講演会：2003年6月19日（京都大学附属図書館3階AVホール）京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座・日本図書館研究会・関西ドイツ文化センター・京都大学附属図書館・近畿地区国公立大学図書館協議会の共催
— ウーヴェ・ローゼマン（ハノーファー大学図書館および技術情報図書館館長）
「VASCODA と subito について」
— イエンス・ボイエ（東京ドイツ文化センター図書館館長）
「ドイツ文化センターとその図書館活動」

- ・大学図書館研究会京都ワンディセミナー：2003年6月28日（京都アスニー第4研修室）
京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座、大学図書館問題研究会京都支部の共催
 - 事例報告：藤原由華（京都大学附属図書館）
「京都大学附属図書館における情報リテラシー」
 - 事例報告：大橋亜紀子（京都大学工学研究科・工学部物理工学系図書室）
「京都大学工学系図書室における情報リテラシー」
 - パネルディスカッション：生津知子（京都大学教育学研究科博士課程）、金智鉉（京都大学教育学研究科博士課程）、薄良彦（京都大学工学研究科博士課程）、呑海沙織（京都大学人間・環境学総合人間学部図書室）、赤澤久弥（京都大学工学研究科・工学部電気系図書室）「利用者の立場から見た大学図書館」

3. 院生研究業績

【博士後期課程】

- ・金 智鉉（図書館情報学）口頭発表：「視覚障害者にとっての点字図書館——変化しつつある環境の中で点字図書館の意味と位置付け——：韓国の点字図書館のインターネットサービスについて」（日本図書館研究会、2003年3月）
- ・吉田 正純（生涯教育学）論文：「《精神の明晰》～『世界文化』集団の抵抗と学習：中井正一たちと〈抵抗の学習〉をめぐる諸問題(2)」(『京都大学 生涯教育学・図書館情報学研究』第2号、2003年3月)
口頭発表「中井正一の戦後活動における「文化」の転形をめぐる——広島における文化運動の思想を中心に——」（日本社会教育学会、2003年9月）
- ・生津 知子（生涯教育学）口頭発表：「イギリスU3A（The University of the Third Age）の発展経緯と現状」（日本社会教育学会、2003年9月）
口頭発表：「高齢者の学習活動の社会福祉的意義——イギリスU3A（The University of the Third Age）の『サードエイジ』概念を手がかりに——」（日本社会福祉学会、2003年10月）
- ・倉知 典弘（生涯教育学）論文：手島精一の「社会教育」論の検討——実業教育と社会教育の関連に関して（『京都大学 生涯教育学・図書館情報学研究』第2号、2003年3月）

【修士課程】

- 坂上 未希（専修コース）翻訳書：トニ・セイメック著、川崎良孝・坂上未希訳『図書館の目的をめぐる路線論争——アメリカ図書館界における知的自由と社会的責任 1967-1974年』京都大学図書館情報学研究会、2003年10月

4. 共同研究「高齢期の社会・文化活動に関する研究」

2004年2月5日、京都大学大学院教育学研究科・生涯教育学講座では、(株)JTBの受託研究を受け、同年3月より「高齢期の社会・文化活動に関する研究」を開始すると発表した。この研究では高齢者を中心に知を愛する人びとが、大学での最前線の研究を行っている教官が、ともに緩急の面白さを語り合いながら、学びの喜びを共有する途を探ることとされている。具体的には、①シニア世代の参加者が講義などキャンパスライフを体験する「京都大学シニアキャンパス」、②民間施設を利用して実施する特別講義「京都大学 in JTB カルチャーサロン」(仮称)、③シニア世代の「学び」に関するアンケート調査・分析、などが計画されている。

5. ASPBAE ワークショップへの参加

2003年1月26-31日、ASPBAE(アジア南太平洋成人教育協議会)主催の「地域基礎リーダーシップ開発ワークショップ」がダッカ(バングラデッシュ)で開催され、本学生涯教育講座より院生の吉田正純・安川由貴子の両名が参加した。このワークショップでは南アジア・東南アジア・南太平洋・中央アジア・東アジア各地から約30名の成人コミュニティ教育実践家が参加した。そこではジェンダー・平和教育・アドヴォカシー・IT技術といったテーマで活発な討議が重ねられたほか、各地での実践の経験共有やワークショップの方法の検討など、今後のコミュニティやNGOの現場での成人教育の実践と原理に結びついた議論がなされた。

6. 研究会など

- ・「地域通貨」研究会
- ・「学びの文化」研究会
- ・SDL研究会